

第39回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和4年3月30日（水）

10:00～12:00

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第39回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。
- ・会議に入ります前に、欠席者、代理出席の報告をさせていただきます。15番桑山委員、16番澤木委員、17番横山委員より欠席の連絡がありました。11番石川様、18番渡邊様に代理出席を頂いております。
- ・あわせて、本日の傍聴人は1名です。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。
- ・次に資料の確認をさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、会長であります、靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・おはようございます。お世話になっております。本日はご多忙の中、第39回武豊町地域公共交通会議にご出席頂きありがとうございます。座長の伊豆原先生をはじめ委員の皆様には、日頃から、それぞれのお立場で町行政、公共交通事業に対してご支援、ご協力を頂き、改めて御礼申し上げます。
- ・本町のコミュニティバス利用者数ですが、コロナ禍で一時的に減少しましたが昨年11月から前年同月と比較して上回る数字となってきました。4月からは武豊町屋内温水プールのオープンを予定しております。また、武豊中央公園につきましても、ウォーキングコース、子ども用遊具、大型テントシェルターが完成し、更なる利用が期待されます。
- ・計画しております電動バスについてですが、導入に向けて急速充電器の設置工事が完了しました。引き続き関係機関と調整し、車両の導入を進めます。
- ・本日は報告事項4件、議案2件を予定しております。報告事項では2月に武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会によって実施されました、新しい接続タクシーの社会実験結果やコミュニティバス南部青ルートの変更案などについてご報告致します。また、議案は令和4年度から令和8年度まで5年間の武豊町地域公共交通計画最終案など2件の議案についてご審議頂きたいと思っております。その他は1件を予定しております。
- ・皆様から忌憚のないご意見をお願い申し上げまして、挨拶とかえさせていただきます。

2. 委嘱状交付

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ありがとうございました。続きまして、「2. 委嘱状の交付」です。
今回の会議より、新しく委員になられました4名のご紹介をさせていただきます。
- ・お名前を読み上げますので、その場でお立ちください。
長尾部部長 久保 隆（くぼ たかし）様
大足区区长 榊原 彰宏（さかきばら あきひろ）様
富貴地区区长会会長 小坂 和正（こさか かずまさ）様
愛知県半田警察署交通課課長 安藤 信之（あんどう のぶゆき）様
- ・委嘱状の交付につきましては、委員お一人様ずつにお渡しするのが本意ではありますが、コロナ禍において対面を避けるため、机上配布とさせて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。
- ・それでは、改めまして本日の出席委員は、17名です。
- ・「規約」第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・「規約」第5条第5項に「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、次第の「2. 報告事項」より、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。先生、よろしくお願い致します。

3. 報告事項及び議案

（報告事項）

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○伊豆原座長

- ・それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。
- ・会長から挨拶でありましたように、報告事項4件、議案2件、その他1件あります。忌憚のないご意見を頂戴して、少しでも武豊町の公共交通のお役に立てるように議論したいと思います。よろしくご審議お願いします。報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・コミュニティバスの利用状況、接続タクシーの利用状況について報告頂きました。
- ・ご質問等ありますか。よろしいですか。コロナで大変ですが、昨年11月は前年同月と比較して上回る数字となってきたとの報告です。住民の皆さんの中で、利用が進んでいるという理解です。事務局に声は届いていますか。

○事務局（岩川）

- ・コロナで不安だという声は、直近は聞いておりません。感染が進んでいた際は、電話などで不安の声を聞いておりましたが、バスでの掲示、抗菌対策を実施し、安心して利用できる対応を進めました。気を緩めることなく今後も対応していきます。

○伊豆原座長

- ・高齢者は出不精になってしまう。外出するチャンスをつくりにくい環境になっている。集まらない。憩いのサロンでカラオケができない。私の住んでいるところではカラオケ大会ができなかった。大きな声を出せないという状況。心配な状況ですが、利用が回復してきたというのはありがたい。皆さんには、周辺の方に声をかけて頂き、利用を促してほしいと思います。
- ・その他質問ありますか。資料1について、運輸局年度の令和3年は、令和4年度に修正しておいてください。それでは、報告を受けたとして次の議事に進めさせてさせていただきます。

●報告事項2 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について…資料5

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項2の「令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。これは2月に第三者評価委員会が開かれ、武豊町の事業や交通計画の策定、補助事業に関する評価を頂いたものです。ご質問等ありますでしょうか。

○山内委員（愛知運輸支局）

- ・二次評価について、評価できる取組は、資料に記載のとおりよく進めて頂いていること。期待する取組の中で、まず1点目「計画を策定する中で」というのは計画策定途中の「案」に対する評価で、これを踏まえ、パブリックコメント等の状況を見ながら、愛知運輸支局としても伊豆原先生にご協力頂きながら武豊町と整理させて頂いたので後ほど事務局から説明があると思います。
- ・2点目、赤ルートは、愛知県において定める幹線系統で補助を受けているルートです。仕組みとして、青ルートと同じコミュニティバスですが、平均乗車密度や収支率が低下しています。先ほど報告あったようにコロナ禍とはいえ、コロナ禍前の8割程は利用者数を維持している中でこのような状況になっていることに対し、交通会議と町でこの件について話を進めていく必要性があると考えます。

○伊豆原座長

- ・今の愛知運輸支局からの指摘について何か事務局からありますか。

○事務局（田中）

- ・山内委員からご指摘の赤ルートの収支率について、新しい交通計画も含めまして、幅広く住民の方々にご利用頂ける取組を武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の皆様とも利用促進を進めていきたいと思っております。

○伊豆原座長

- ・第三者評価委員会はアドバイスをする会議。私もメンバーとなっている。第三者評価委員会では、個々の委員から指摘をされたことについても事務局は確認している。
- ・他にありますか。報告を受けたとして進めさせて頂いてよろしいでしょうか。
- ・特に無いようです。確認頂いたとして次の議事に移ります。

●報告事項3「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」による新しい接続タクシーの社会実験結果について……資料6

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項3の「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」による新しい接続タクシーの社会実験結果についてです。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。
武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の櫻場委員より何か補足説明はありますか。

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・特に補足はありません。

○伊豆原座長

- ・社会実験、アンケート調査の報告について、ご質問、ご意見ありますでしょうか。
- ・アンケートの結果、料金的には半額くらいまでなら自己負担として良いという理解です。自宅までというのがこのサービスのよいところ。これまでの接続タクシー停留所からコミュニティバス停留所までよりは、自宅まで来てもらえれば利用しやすくなるのでその辺りをどうこれから詰めていくかです。

○山内委員（愛知運輸支局）

- ・アンケートの結果の自由意見について、どんな選択肢・解決策があって、どのような方向性とするかを議論することが大事だと思います。バス停まで繋がるのであれば、バスに乗りたい人が便利になるようにした方が良いと読める。バスへの接続を目的としないなら自由ではあるが、自分自身で確認することが多い。利用する際の標準的な時間を定めることもできるかもしれない。また、自由にし過ぎるとなぜバス停までかという議論もある。バス利用と歩いて利用できる2つの方法もある。目的やコンセプトが必要であり、仕組みとして突き詰めていく必要がある。

○伊豆原座長

- ・これから検討していくうえで、視点を整理する必要があるというご指摘は大切である。

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・接続タクシーの目的は、当面はバス利用を補完するものだが、将来的には、バス停利用に限らず、自由にどこへでもいける仕組みとしたい目論見がある。新しい接続タクシーの場合は半額の500円程度を自己負担として取り入れたいと考えている。
- ・バス停以外に行ける仕組みを取り入れた際は、500円の補助でどこにでも行けるようにしたいと考えている。
- ・突破口としてタクシーに乗りやすい環境を作りたい。バス停と繋ぐ接続タクシーによりタクシー乗車を体験し、乗車機会を増やしてもらおう。ゆくゆくは運転免許返納者の移動方法として、バスとタクシーを上手に使う仕組みを作りたいと考えている。そのために、まずは準備段階としてバス停までいく仕組みと考えている。

○山内委員（愛知運輸支局）

- ・いろいろな役割分担や調和、方向性が大切だと思う。
- ・電気バスの導入は、町のシンボルとするイメージがある。タクシーについても議論の方向性を見据えないと中途半端になる。
- ・もう1つ、タクシーの輸送量が確保できるかという問題もある。タクシーの車両数、ドライバーの人材・担い手について、急な配分ができるものではない。安定的なシステムと、将来を見据え、方向性を持った議論が必要だと思う。

○伊豆原座長

- ・供給側の視点も重要です。全町でこのサービスを行う時に、タクシーの供給・運転手確保ができるのか。運転手不足があり、サービス提供側が対応できるのか、利用度合いを考えるなど議論していくことが大切です。事務局としては、そのあたりは考えられていると思う。
- ・他にありますか。ご質問がないようです。報告を受けたとして、来年度の接続タクシー事業の検討を進めさせて頂くことになると思います。確認頂いたとして次の議事に移ります。

●報告事項4 来年度の接続タクシー事業(案)、来年度のコミュニティバス(南部青ルート)事業(案) および検討スケジュール(予定)について……資料7-1~3

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項4の来年度の接続タクシー事業(案)、来年度のコミュニティバス(南部青ルート)事業(案)および検討スケジュール(予定)についてです。
事務局より説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度の接続タクシー、青ルート of 事業変更、スケジュールについて報告がありました。次回の会議で各事業の確定となる予定です。今日は、この報告で検討を進めたいということの確認です。ご質問、ご意見ありますでしょうか。

○小坂委員（富貴地区区長会会長）

- ・左回りが右回りとなる変更は真逆となるため、大きな変更になる。変更についての説明がしっかりとできるようにしておいて欲しい。双方向の運行が望ましいが、財政的な問題等で一方通行1周50分程度なら我慢できる範囲ということだと思う。どちらの回り方が良いというのは難しいと思うが、変更について説明できるようにしてほしい。

○伊豆原座長

- ・変わることにについて、住民からは何故なのかと問われることになる。
- ・次回の会議までには整理するということが良いか。

○事務局（田中）

- ・この会議でお話しいただく前に、住民ワークショップを2カ年進めてきました。そういった経緯の中でこの事業案で進めさせて頂いております。仰って頂きましたとおり、地域の方へ区長様方が問われた際にお答えできるように改めて準備をして整えて参ります。

○石原委員（議会議長）

- ・青ルートの逆回りになり新たに停留所が増える。武豊町では通学路にガードパイプをつけて安全対策を進めている。資料の写真だと何もないところにバス停がある箇所も見受けられるので、ぜひともバスを待つ方への安全対策も検討頂きたい。
- ・15番の交差点の写真。南知多道路をくぐる嶋田の交差点で、南から東への右折時には左側から車両が勢いよく走行してくる事が多く、ガード下で見にくいことや、変則の交差点となっていることもあるため、注意が必要な場所。武豊町道路計画としては民家の右側部分に道を接続するという計画となっているが、それができていないという状況である。安全対策の面でも道路の整備も進めてほしいと思う。

○事務局（田中）

- ・バス待機者の安全対策については、警察との協議においても安全確保を前提に、今後は位置設定したいと思います。

○伊豆原座長

- ・安全性の担保は大切なことですので道路管理者、警察との調整で、安全対策の検討を進めて下さい。大変良いご指摘を頂きました。これから調整事項がたくさんありますが、よろしくお願ひ致します。
- ・スケジュールにあるように、今回は報告事項。次回6月にも協議する。6月は補助金計画の検討も準備することになる。タイトな状況だと思いますが進めて下さい。
- ・地元の皆さんにも、地図、写真を見て頂くなど、そういった点も含めて皆さんで場所の確認をお願ひ致します。

- ・それでは報告を受けたとして進めさせて頂いてよろしいでしょうか。特に無いようです。確認頂いたとして次の議事に移ります。次回は成案としていきたいと思いをします。

(議案)

●議案第1号 武豊町地域公共交通計画(最終案)について……………資料8

○伊豆原座長

- ・ここから議案となります。議案第1号「武豊町地域公共交通計画(最終案)について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。第三者評価委員会や愛知運輸支局の指摘について、修正と言うより図表を追加して分かりやすくする整理をしたと考えて頂ければと思います。文章が多いとわかりづらいですので。図表の整理によりよくなったかと思いをします。
- ・これについて、ご意見、ご質問はございませんか。

○深谷委員(タクシー協会)

- ・お聞きしたい点がある。p17の図表③の、「公共交通(バス)を活用する生活スタイルの転換」とあるが、バスだけか。町内には鉄道やタクシーも公共交通とある。鉄道まで入れる、入れないかは別と致しましても、接続タクシー事業があるので、タクシーも入れて頂いたほうが良いかと思いを。p23も同じ書きぶりですが、その点お聞きしたい。

○伊豆原座長

- ・バスだけではいけないと思いをしますので、公共交通という言葉としてください。公共交通全体という整理にしたいと思いをします。
- ・深谷委員、そのような整理でよろしいでしょうか。事務局も良いか。

○深谷委員(タクシー協会)

- ・良いです。

○事務局(岩川)

- ・バスの記載を削除し、公共交通全体という整理をさせていただきます。

○伊豆原座長

- ・他によろしいでしょうか。パブリックコメント時にも皆さんに協議確認頂いた。
- ・深谷委員の指摘は修正させていただく前提で、ご承認頂いたということによろしいでしょうか。
- ・ありがとうございました。異議もないようですので、承認して頂いたことと致します。この計画は国に提出します。

- ・今は移行期間ですが、この計画がないと補助金がもらえない。国に提出して進められると思います。議案1号は承認頂きました。

●議案第2号 令和4年度武豊町地域公共交通事業計画(案)について……資料9

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第2号「令和4年度武豊町地域公共交通事業計画(案)について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局説明(田中)

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度の事業計画(案)の協議です。

○山内委員(愛知運輸支局)

- ・利用者人数についてですが、赤ルートは、補助金制度として、運賃収入が利用者数としてカウントされています。そのため、輸送量というものが実際の利用者数よりも低く見積もられているという実態があります。実際の利用者数はコロナ禍でも通常時の約8割まで伸びているが、補助金制度からの視点では、運賃収入が少ないことにより輸送量が低く見積もられている関係で、このままの状態だと補助対象から外れてしまうという危機感があります。
- ・今、高齢者は無料のため、運賃収入を上げるために若い方たちへの利用促進を図らなければ、この状況を改善することは難しい。コロナの影響があったにしても、そのように整理されている。補助金は輸送量が少なく見積もられている関係から、このままだと補助対象から外れてしまう危機感をもってほしい。
- ・パブリックコメントで意見がなかったというのは、計画が認知されていないことも考えられるので、計画の概要版やチラシを配布するなどして、住民全体で支えている事業、公共交通とすることを周知して欲しい。

○事務局(岩川)

- ・1点目、高齢者の無料事業については生活の足として位置づけて継続し、高齢者以外の若い方たちに対しての利用促進を進めて参ります。
- ・計画策定につきましては、ホームページ等での周知を予定しておりますが、概要版等の作成につきましても検討して参ります。

○石原委員(議会議長)

- ・5年間の地域公共交通計画が先ほど承認された。初年度の事業計画(案)を資料で提示されている。5年間の計画の中では、5つの計画の基本的な方針を挙げられていて、それに対して具体的にp24、25に実施事業が示されている。
- ・令和4年度の事業計画(1)~(3)は5年間の計画の基本的な方針のどれに該当するのか、比較しづらかった。項目と事業の対比を交通計画に合わせた資料作成の方が理解しやすいので、この形にした意図があれば、教えて頂きたい。

○事務局（岩川）

- ・交通計画のp 24、25で計画の方針を示しているので、資料9の表現は交通計画の表現に合わせていくように修正していきたい。

○石原委員（議会議長）

- ・住民への働きかけ事業などポイントとなる項目もあり、元の計画との対比がしづらいということで発言をさせて頂いた。必ず変えてくれということではない。

○伊豆原座長

- ・交通計画のどれに該当するかを示せばよいので、文言を変える指摘ではないです。交通計画の対比ができるように整理しておけばよいということです。よろしくお願いします。

○事務局（田中）

- ・ありがとうございます。見て頂く方にわかりやすく結びつけられるようにしたいと思います。

○久保委員（長尾部部長）

- ・コミュニティバスは理解できる。接続タクシーの意味合いについて、通常のタクシーと何が違うのか、周知徹底ができていないのではないかと。コロナ禍でPRは難しいかもしれないが、体験乗車などのPRをしてほしい。
- ・タクシーは金額が高いものと認識してしまう。気軽に利用できるものだというPRを進めてほしい。

○山内委員（愛知運輸支局）

- ・タクシーの分野は、まちとして様々な補助や方法があると思うが、大きく分け、町として、住民の方に交通の足を確保する部分に対する支援をするタクシーと、個人の目的で利用する通常のタクシーの2つがあると思う。
- ・接続タクシーは最低限、町として住民の方に交通の足を確保するものだというご理解頂きたい。
- ・コロナ禍に対するPRとしては、安心利用という点で国もPRはしているのでよろしくお願い致します。

○事務局（田中）

- ・住民の理解が進んでいない点につきまして、町としましてはPRをしてきたつもりではありますが、まだまだPR不足であるということであると思います。自家用車を持たれている方が多い中ではありますが、新しい生活様式として車を運転できる方も、時にはバス、時にはタクシーなどの公共交通を利用する生活スタイルへの転換について投げかけていきたいと思っています。
- ・生活の足を考える会と利用促進策を検討しています。町も区に対しての出前講座がありますので、ご利用の際はお声がけください。

○伊豆原座長

- ・タクシーは高いというイメージから、公共交通というイメージへの転換、定着を住民のみならずにもPRしていくことが大切かと思う。
- みんなで使うと良いという意味合いのモビリティマネジメントという考えについてPRを進めてほしい。

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・バスの利用は、高齢者にとっては健康でないと使えない。
- ・健康な時からバスを使わないと、自動車を手放した時になかなかバスに乗れない。健康な時からバスの利用促進を進めたい。

3. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・議事のその他の事項として、引き続き発言させていただく。バスの使い方を考えていきたい。これまでは高齢者、障がい者の利用を考えてきた。遊びとしてのバス利用を提案したい。バスを使ったウォーキング。ちびっこ広場があるので、バス停を起点とした、歩いて回る、観光スポットをまわる観光ルートを考えたい。既存の観光スポットだけではなく、町民が知らない小さな観光スポットを見つけて発表していきたい。
- ・旅行で猿岩という場所に行った。この岩はある方向から見たらサルの顔に見える。違う方向からは普通の岩だった。そんなスポットはみんなが探せば見つけれられると思う。昔は写真展、絵画展などを実施してきた。親子を対象とした使い方を考えていきたい。
- ・接続タクシーは、家からバス停まで使えるというバスへの乗りやすさをPRしたい。高いというイメージを払拭して、タクシー利用へのハードルを下げたい。
- ・ゆくゆくはバス停以外にも行くタクシー制度を目指したい。そのためにもまずは今回の制度を定着させ、自動車免許を返納しても利用できるということも促したい。
- ・補助の金額は半額程度、高額になってもいけないので最高でも500円補助ということができないかと思っている。町長よろしくお願いします。

○伊豆原座長

- ・次第 その他を含んでお話頂いた。
- ・接続タクシーは通常のタクシーとの違いをPRし、正しく理解してもらいたい。
- ・ホームページだけでの説明だけでなく、面と向かうことや、実際に使ってもらった方の口コミで、上手に使える方法の情報交換もできる機会をつくってもらえたらと思う。

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・社会実験は、乗ってくれと頼んでもなかなか動かない。引っ張り出して利用してもらった。体験を通して広げていきたい。

○小坂委員（富貴地区区長会会長）

- ・確認で北部赤ルート、南部青ルートとあるが、今回ルートを延伸してちゅうや整形までいくと南部ルートというイメージでなくなる。素朴な疑問であるが、呼び方がなじむものなのか。

○事務局

- ・延伸する先は北部に入るため、わかりやすく赤ルート、青ルートという呼び方で進めていきたいと思えます。

○深谷委員（タクシー協会）

- ・タクシーは金額が高いということについて、試算したことがある。
- ・軽乗用車でも10年間利用したとして、年間26万円の維持費が必要。タクシーの場合、週3000円使っても年間15万円。加えて安全に利用できる。一つの目安としてご紹介させていただきます。

○伊豆原座長

- ・自動車は止まっている時間が長く、お金が思いのほか、かかるもの。これからの社会は、持つのではなく、使う状況に変わっている。車はCASEとあって、自動運転、シェアリング、電動化などの仕組みが進展していく。事務局でも何のために電動化するのか今後説明をしたほうが良い。SDGsは小学生でも認知されてきた。公共交通について、社会の中で、どうやって位置付けていくのか。
- ・櫻場委員からも楽しく使うという良い発言も頂いた。ぜひそういったキーワードで見つけながら使っていく事が大切かと思えます。

○森川委員（安全タクシー）

- ・社会実験ではタクシーのドアツードアというよいところを使って頂いた。ドライバーからの話だと、自宅までの利用なので買い物利用が多く、よかったという印象を頂いたということで聞いている。一方で、バス停からもう少し先の所まで行って欲しいという、通常のタクシー利用のような話もあった。忙しい時間帯には、配車に時間がかかりお叱りなども頂いた。
- ・通常のタクシーの補助については、相当な金額になってしまうと思うが、西尾市、半田市などでは、行けるところや時間帯、登録者を制限して、病院・役場・特定の施設などに、最高でも1500円～2000円でサービス提供するものが始まっている。
- ・タクシー利用のデータもありますので、使って頂き、町の予算に合うかたちでタクシーを使って頂ければと思う。
- ・先ほど運転手が不足している問題がある中で、大丈夫なのかという一部厳しいご意見もあり、我々も厳しい状況ではありますが、地域の皆様の生活の足になることができるようにと考えておりますのでよろしくお願い致します。

○伊豆原座長

- ・使う側、供給側、それぞれウィンウィンの関係を構築できるようにということであると思う。そういった仕組みを作ることができるかが大事だが、最初から満点は難しいので、少しずつ努力し、良くしていくことが大切です。

○櫻場委員（武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会）

- ・森川委員によいヒントをもらったと思う。コミュニティバスは高齢者には無料としている。
- ・タクシーでも、高齢者に対して時間限定・場所限定とした無料タクシー券などの発行もよいのではないかと。移動できない方に対して恩恵がいくように今後提案していきたい。

○伊豆原座長

- ・いろいろな市町で、福祉タクシー事業を福祉課が行うなど、割引・料金設定などの様々な取り組みが進んでいる。いろいろな情報を得て勉強し、社会実験をやってみるとかなどで進めていくということが良いかなと思います。

○伊豆原座長

- ・その他皆さんからの報告等ありますでしょうか。特に無いようですね。
- ・それでは私の進行はこれで終了させていただきます。

4. 閉 会

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・それでは、次第の5. 閉会に移ります。閉会にあたりまして、会長よりご挨拶を申し上げます。

○会長：靱山町長

- ・長時間にわたりありがとうございました。伊豆原先生には進行ありがとうございました。
- ・櫻場委員から色々なアイデアを頂戴した。最高500円とする料金補助制度、無料タクシー券の発行など、どこまでできるかわからないが検討を進めたいと思います。
- ・本日は、2つの議案を承認頂いた。
- ・新しい接続タクシー、コミュニティバス南部青ルートの変更について、関係機関と調整して、6月会議でご審議頂けるように進めていく。青ルートは逆回りなので大きく変わる。安全対策のガードパイプの設置による安全対策、嶋田地区の交差点の道路整備などは時間がかかるかもしれませんが一生懸命取り組んで参りたいと思います。
- ・冒頭お話致しましたが、4月には屋内温水プールがオープンします。町内の利用形態が変わってくるかと思えますし、町はゼロカーボンを進めている。公共交通利用をされる方が増えるとありがたい。
- ・バスの利用促進を進め、利用者のアンケート調査を実施し、結果を反映していきたいと思えます。使い勝手の良いバス、より良い事業にしていきたい。本日はありがとうございました。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ありがとうございました。以上をもちまして「第39回武豊町地域公共交通会議」を閉会致します。
- ・次回「第40回武豊町地域公共交通会議」令和4年6月下旬に開催する予定です。詳細が決まりましたら、またご連絡致します。
- ・本日はありがとうございました。

以上